

科目名・単位数	介護総合演習（3年次）	（ 1 ）単位	学習レベル	応用
学習目標				
① 実習Ⅱの内容について理解し、実習目標や計画を立てることができる。 ② 自立に配慮した個別援助計画の立案・実践ができる能力を身につける。 ③ 演習・実習の目標達成度の評価を行い、自己の介護観・職業観の構築を行う。				
学期	学習内容	学習のねらい	備考	
前期 (4月～9月)	4月 実習モデル③	□利用者を取り巻く社会の支援体制を理解する。	・ワークシート	
	5月 実習Ⅱのねらいと実習モデル 想定される実習Ⅱのモデル 介護過程を展開する実習	□実習Ⅱのねらいを理解する。 □実習Ⅱの目的を理解し、実習計画を立てる。 □介護過程の展開方法を理解する。	・ワークシート	
	6月 介護に必要な情報収集 情報の解釈と関連づけ	□介護に必要な情報収集方法を理解する。 □情報の解釈と関連づけ、生活課題の分析方法を理解する。	・ワークシート	
	7月 介護計画が立案できる	□介護計画の立案方法を理解する。	・ワークシート	
	9月 評価について	□目標達成の評価方法を理解する。	・ワークシート	
後期 (10月～2月)	10月 実習の振り返り	□実習の振り返り・評価・反省を行う。	・ワークシート	
	11月 個別援助計画発表会の準備作業	□個別援助計画をまとめあげ、発表会の準備を行う。発表に必要な資料整理、まとめる力を身につける。	・パソコン	
	12月 個別援助計画発表会の実施	□個別援助計画発表会の実施を行い、プレゼンテーション能力を高める。また他ケースの計画実践を聞き、生活支援の多様性を理解する。	・評価シート	
	1月 資格取得時の到達目標の評価	□資格取得時の到達目標の評価を行う。		
	2月 演習課題による全体のまとめ	□介護実習の目標達成度の評価を行い、自己の介護観・職業観の構築を行う。	・ワークシート	
評価の観点と方法				
観 点 ① 実習Ⅱの内容について理解し、実習目標や計画を立てることができたか。 ② 自立に配慮した個別援助計画の立案・実践ができる能力を身につけることができたか。 ③ 演習・実習の目標達成度の評価を行い、自己の介護観・職業観の構築を行うことができたか。				
方 法 ① 上にあげた観点を総合的に評価する。				
使用教科書・副読本	新・介護福祉士養成講座 9. 介護総合演習(中央法規)			
教材・道具等	・ビデオ、DVD、パソコンなど			